

喘息発作時のアミノフィリン投与量の目安

	年齢（歳）	目安	
		初期投与量 (mg/kg)	維持量 (mg/kg)
あらかじめ経口投与 していない場合	2～15	6	0.6-1.2
	15以上	6	0.7-0.9
あらかじめ経口投与 している場合	2～15	3～4	0.6-1.2
	15以上	3～4	0.7-0.9

アミノフィリン持続点滴療法

年齢	推奨濃度 (mg/kg/hr)
2カ月～6カ月	0.5
6カ月～1歳	0.6
1歳～2歳	0.8
2歳～6歳	0.9

@アミノフィリンの血中濃度を上げる要因（クリアランス低下）

- 1.発熱
- 2.ウイルス感染に伴う上気道炎
- 3.肺炎、閉塞性肺疾患
- 4.マクロライド系薬剤の内服時
- 5.乳幼児

@けいれんの既往のある患者に対しては、推奨濃度の2～3割少な目の投与量に減量。発熱時には更に減量。ステロイド治療を併用し、けいれん誘発を避ける。ステロイド治療には、インフォームド・コンセントが必要となる。